

<6班>

■再編内容（大船地域・玉縄地域）



6班 コンセプト『機能の集約.施設の分散.民営化.』

再編の考え方
 r ミニバスによる活性化.

ミニバス

カード理由	削減		売却	利用料金改定・民間委託		サービス向上 (鎌倉らしさ)
	施設			サービス		
	カード	理由		カード	理由	
大船行政センター (サービスコード: 4) 200 児童館 (サービスコード: 1) -20 児童館 (サービスコード: 2) -200	玉縄児童センターの団地と児童館の併設 1-1900 大船児童館 400 (4200) 市民センター (1区) 1000 (1000) 市民センター (1区) 1000 (1000) 市民センター (1区) 1000 (1000)	住宅 10 住宅 10 遊び場の確保 10 子育ての場や集いの場 20 スポーツ (屋内) 20 子育ての場や集いの場 20	大規模用地 200 大規模用地 200 大規模用地 200 小規模用地 20 小規模用地 10 小規模用地 50	【料金改定】 【民間委託】	子供連れの総合施設 (外に遊ばせ) 高齢者のみの施設 コフ	
ポイント	1日目	64	90			
	2日目	640 / 3,180	90 / 2,160	480		-300
合計			910 / 4,200	480	1,540	1,540 / 5,340 (大船・玉縄地域)

■ 6班の発表に対する質疑応答

質問：

私たち5班とだいたい考え方は同じだという感想で、大船・玉縄地域に関して5班と6班が同じ考え方を持ったというのは、単なる偶然なのか、やはり、同じような問題や方向性を持っているのかなということを感じた。

回答：

このエリアに関しては、鎌倉町に併合されてから鎌倉市という形になり何十年もたつが、それぞれ諸問題がある。鎌倉駅の表駅側は圧倒的に個人が土地を持っているため、再開発はかなり難しいと思っている。ところが、大船・玉縄地域は土地が余っているので市として活用しないのはどういうつもりなのかと思う。ここに着眼をせずして鎌倉の未来はないだろう。資産価値ある旧鎌倉ではない、深沢エリアや大船、玉縄エリアをいかに活用するかが、20年後の鎌倉を考える時のキーポイントになると思う。

質問：

今回の検討施設には入っていないが、農地や広場、公園など空き緑地をどう考えるかというのがコンセプトとしても抜けている。活性化という意味でどのように考えているか。

回答：

活性化という意味では、関谷のインターから下りてきて、車がブンブン走っている谷間のエリアを使って子どもの遊び場を設けてはどうかと考えている。役所はろくなことを考えないので、民間にアイデアを出してもらい、活用した方が良い。

質問：

大船駅を中心としたエリアで今泉の方面について、以前、何かで読んだが、そのエリアに住んでいる人たちは自分が鎌倉市民だと思ってないらしく、鎌倉都民という言葉があるそうだ。鎌倉だと思って家買って住んだけど違うじゃないか、騙されたとがっかりした人たちがいっぱい住んでいる。自分たちのことを鎌倉都民だといって、東京都の都、そこからお勤めが向こうに行っている。鎌倉の行政サービスを受けようと思っている人は誰もいないくらいですね。そのような所にある小学校だの、市の施設だのというのはみんな売ったらいいのではないかと、今お聞きして感じた。

回答：

私も売ってもいいと思っている。今泉など周辺エリアは、過疎化が進行しているのはわかっているし、土地が余っているのもわかっているのに何も着手をしていないという事は、これはもう議会と鎌倉市役所、行政の怠慢でしかないと思う。